

このマークをクリックすると当社ウェブサイト内、外部サイトで関連情報をご覧いただけます



代表取締役社長 CEO

加藤 照和

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
第89期(中間期)の株主通信をお届けし、事業の概況をご報告申し上げます。

当社グループは、「TSUMURA VISION “Cho-WA” 2031」を掲げ、漢方薬・中薬を軸とした製商品・サービスを通じて、一人ひとりの心身と社会のwell-beingに貢献することを目指しており、2024年度はビジョン実現に向けた第1期中期経営計画の最終年度となります。

2024年度は、為替変動や物価上昇、地政学リスクを巡る緊張感が継続するなど事業環境の厳しい中、国内事業では、一人ひとりの患者様にあった漢方治療が行われる医療現場の実現に向けた情報提供活動を強化し、売上高伸長および漢方製剤10処方以上を処方する医師数の増加は順調に推移しています。

また、漢方製剤の安定供給体制の強化に向けた必要な投資を行い、患者様のお役に立つ漢方製剤を安定的にお届けできるよう取り組んでいます。中国事業においても、付加価値の高い飲片(刻み生薬)の販売の強化に重点を置きつつ、原料生薬の販売もあわせて、生薬プラットフォームの事業拡大を推し進めてまいります。

また、バランスシートマネジメントによる資本政策の取り組みも引き続き強化し、中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

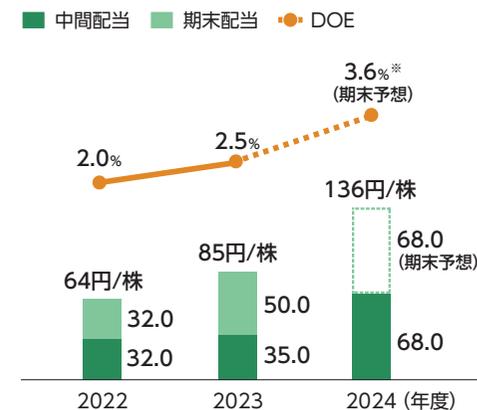
株主還元方針

当社は、株主様に対する利益還元を重要な政策と考え、「TSUMURA VISION “Cho-WA” 2031」の実現に向けた中長期的な企業価値向上の取り組みとして、株主資本配当率であるDOEを指標として、2031年度に目指す水準を5%と設定し、健全なバランスシートを保ちながら配当拡充を目指します。

2024年度は、この方針および業績予想に基づき、1株当たり51円増配の年間136円の予想とさせていただきます。

ニュースリリース

配当金の推移(円)



※ 2024年度期末配当金・DOE(予想)は、第89回定時株主総会による配当議案決議が前提の予想値を記載

配当金およびDOEの推移

業績の概況

2024年度中間期は前年同期と比較して増収増益となりました。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は上期計画を達成し、通期計画の達成に向け着実に進捗しています。

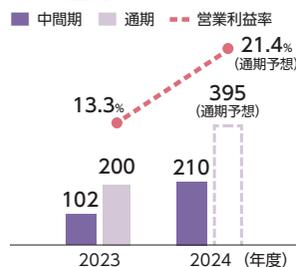
売上高(億円)



売上高は、前年同期と比べ18.3%増加し89,071百万円となりました。

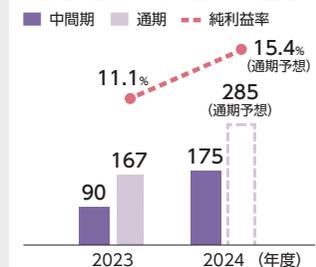
国内事業の売上高は、前年同期と比べ20.9%増加し、79,973百万円となりました。中国事業の売上高は、前年同期と比べ0.8%減少し、9,097百万円となりました。

営業利益(億円)



営業利益は、前年同期と比べ106.4%増加し、21,075百万円となりました。円安による生薬調達コストの上昇や加工費の上昇等のマイナス影響があったものの、医療用漢方製剤66処方ที่ไม่採算品再算定の適用を受け薬価が上昇したことにより増加しました。

親会社株主に帰属する当期純利益(億円)



親会社株主に帰属する中間純利益は、円安による在外子会社への貸付金に係る為替差益が発生したことに加え、政策保有株式の売却に伴う特別利益を計上したこともあり、前年同期と比べ94.4%増加し、17,502百万円となりました。

事業の概況

事業別売上高

	2023年 中間期	2024年 中間期	前年同期比	
国内事業	66,131	79,973	+13,842	+20.9%
医療用漢方製剤	63,720	77,101	+13,381	+21.0%
一般用漢方製剤等	1,751	2,226	+475	+27.1%
その他	659	646	▲13	▲2.0%
中国事業	9,171	9,097	▲74	▲0.8%

国内事業

国内事業の売上高は、前年同期と比べ20.9%増加し、79,973百万円となりました。医療用漢方製剤の売上高は、薬価改定において薬価が上昇したことにより、前年同期と比べ21.0%増加し77,101百万円となりました。特に育薬処方の大建中湯、抑肝散、牛車腎気丸の売上高は薬価が上昇した影響もあり、大きく増加しました。五苓散の売上高は、頭痛・めまいなどのニーズに沿った情報提供活動により増加しました。また、一般用漢方製剤等の売上高は、取り扱い店舗数が拡大したことにより、前年同期と比べ27.1%増加し、2,226百万円となりました。

中国事業

中国事業の売上高は、原料生薬と飲片の販売を中心とする生薬プラットフォーム(平安津村薬業有限公司、深圳津村薬業有限公司等)において、飲片の売上高は前年同期と比べ40.2%増加したものの、原料生薬の売上高は、第1四半期に発生した取引先の一時的な買い控えの影響等により前年第1四半期と比べ5.7%減少したことにより、前年同期と比べ0.8%減少し、9,097百万円となりました。

売上高構成比率



漢方製剤を10処方以上処方する医師は43%に

国内の医療用漢方事業におけるビジョンは、患者様がどの医療機関・診療科においても、一人ひとりに合った漢方治療が受けられる状態の実現です。そのファーストステップとして、第1期中期経営計画期間中に医療用漢方製剤10処方以上を処方する医師が、臨床医全体の50%以上を占める状態にするという目標を掲げています。

デジタルツールを活用した医療関係者への情報提供活動であるe-プロモーションを中心に情報提供の量と質の向上に努めたことで、2024年9月末時点では約43%まで増加しました。

医療用漢方製剤10処方以上を処方する医師の割合



安定供給体制のさらなる強化

当社グループは東日本大震災の経験をもとに事業継続計画(BCP)を強化してきましたが、2022年のコロナ第7波や医薬品供給不足により漢方薬の需要が急増したため、限定出荷*の対応を取ってきました。この反省から、需要予測の精度向上と供給体制の強化に努め、非常時に備えた生産余力や在庫の確保を進めています。また、生薬倉庫の増設も段階的に実行しています。

*製造販売業者が自社の事情や他社品の影響などにより、全ての受注に対応できない状況のこと。

安定供給体制のさらなる強化に向けた設備投資

目的	主な投資内容	投資予定額			投資期間
		2024年度計画	2024年度中間期支払額	総額	
生産能力の増強・生産性向上 (漢方エキス粉末 製造工程)	上海工場(リニューアル)	10億円	6億円	30億円	2021年度~2024年度
	天津工場(2期、3期)	95億円	37億円	250億円	2021年度~2026年度
	茨城工場(第4SD棟)	75億円	2億円	300億円	2024年度~2026年度
生産能力の増強・生産性向上(造粒・包装工程)	造粒包装棟	30億円	1億円	※投資総額の機関決裁は下期以降	2024年度~2027年度
	茨城工場(第3生薬棟)	25億円	0億円	80億円	2024年度~2026年度
保管能力の増強・生産性向上	夕張ツムラ(生薬倉庫)	15億円	7億円	25億円	2023年度~2025年度
	その他(ライン増設、更新、生産性向上等)	90億円	28億円	—	—
合計		340億円	81億円	—	—

茨城工場に2つの新棟を建設

医療用漢方製剤の需要拡大に伴う、生産能力の増強および安定供給の確保に向け、茨城工場において漢方製剤の中間製品であるエキス粉末を生産する第4SD*棟と、原料生薬の受入れと保管の機能を有する第3生薬棟の建設を進めています。

竣工は2026年度末。これにより950t/年の増産と新開発の自動化技術の導入により、大幅な省人化が可能になります。

*SD(スプレードライ：噴霧乾燥)とは、液体原料を熱風中に噴霧して、瞬時に水分を蒸発させ、乾燥粉末にする製法のこと。

第4SD棟



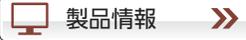
機能	漢方製剤中間製品であるエキス粉末の製造 製造能力：950t/年
建築面積/ 延床面積	1,560.90㎡/ 8,462.98㎡ (地上7階建て)
投資額	約300億円

第3生薬棟



機能	原料生薬の受入れ、 生薬試験サンプリング、 保管 保管量：1,000t
建築面積/ 延床面積	1,988.00㎡/ 2,941.95㎡ (地上2階建て)
投資額	約80億円

おすすめ漢方



当社の一般用漢方製剤であるツムラ漢方(TSUMURA KAMPO)シリーズは、医療用漢方製剤と同じ処方番号を前面にデザインし、「伝える・伝える」をコンセプトに49処方を展開しています。そのうち注目されている2処方をご紹介します。

むくみが気になる方に(頭痛、水様性下痢、二日酔)



ツムラ漢方五苓散料エキス顆粒A (ごれいさん) 第2類医薬品

〈効能・効果〉

体力に関わらず使用でき、のどが渇いて尿量が少ないもので、めまい、はきけ、嘔吐、腹痛、頭痛、むくみなどのいずれかを伴う次の諸症:水様性下痢、急性胃腸炎(しづり腹*のものには使用しないこと)、暑気あたり、頭痛、むくみ、二日酔

※ しづり腹とは、残便感があり、くり返し腹痛を伴う便意を催すものことである。

- 症状チェック
- むくみがちで頭痛がする
 - 急性胃腸炎などで、はきけや腹痛を伴う下痢をしている
 - 二日酔でムカムカして口が渇き、はきけがする



気力、体力、食欲が落ち、手足が冷える方に(食欲不振、疲労倦怠、貧血)



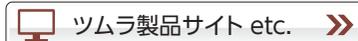
ツムラ漢方人參養榮湯エキス顆粒 (にんじんようえいとう) 第2類医薬品

〈効能・効果〉

体力虚弱なもの次の諸症:病後・術後などの体力低下、疲労倦怠、食欲不振、ねあせ、手足の冷え、貧血

症状チェック

- 気力、体力、食欲が落ちた
- だるさがあり、手足が重い
- 手足の冷えや、貧血がある



「漢方のある暮らし」をコンセプトに、症状に合った漢方薬のご紹介やセルフケアのワンポイントアドバイスなど、皆様の健康維持にお役立ていただきたい情報を発信しています

新商品情報



体をやさしくいたわる自然の恵み、和漢スープで元気な毎日を
「ツムラの和漢ぷらす 養巡スープ」新発売

当社グループは、長期経営ビジョン「TSUMURA VISION “Cho-WA” 2031」において、「PHC:Personalized Health Care(一人ひとりに合ったヘルスケア提案)」をビジョン実現に向けた土台の一つに位置付けています。

「ツムラの和漢ぷらす 養巡スープ」は、30代~50代女性に和漢の力で寄り添う商品です。当社がこれまで培ってきた経験を活かし、「体に優しい和漢素材をおいしく毎日食べられ、忙しい日々を過ごすあなたを支えたい」という想いを込めて、開発いたしました。

3種の和漢エキスを配合したフリーズドライのスープです。

お湯を注ぐだけで、手軽に和漢を身体に巡らす一杯をお楽しみいただけます。



養巡スープを使ったアレンジレシピを公開中

健康維持のサポートにも役立つおいしいアレンジなのでぜひご自宅でご試してみてください。



ツムラオンラインショップ開設

当社では一人ひとりの健康に寄り添う和漢の商品をご提供するとともに、“養生”への取り組みや情報発信を通じて、お客様の健康に貢献するべく、当社初となるECサイト「ツムラオンラインショップ」をオープンいたしました。“養生”に関連するおすすめの情報やキャンペーンなどの発信も積極的に行い、一人ひとりに合ったヘルスケア提案を目指してまいります。



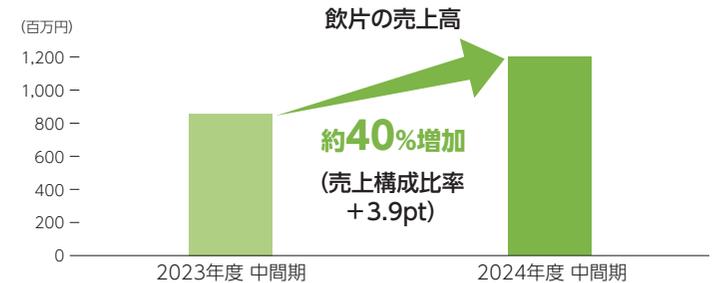
中国事業：生薬プラットフォームの取り組み

中国事業の生薬プラットフォームにおいては、これまでツムラグループの生薬の品質を認知いただくために、原料生薬の販売拡大を積極的に進めてきたことで、年平均売上高成長率30%での成長を続けてきております。

2024年度からは収益性向上を重視した原料生薬の顧客の選定と原料生薬と比べて付加価値が高い飲片や健康食品である大健康製品の販売比率を高めていくことを目指しております。その結果、飲片の売上高については、メインターゲットである病院販路での販売拡大により、前年同期比約40%増となり、売上構成比率も3.9pt上昇しました。これに伴い、原価率の改善や利益率の向上が図られています。

また、飲片は煎じるなど手間がかかることや携帯性、均質性に課題があるため、飲片付加価値サービスとして「一人一方」事業の拡大も進めています。「一人一方」事業とは、患者様の代わりに、スマートファクトリー設備で処方箋どおりに飲片を煎じ、煎液、流エキス、エキス顆粒に加工・包装したものを、直接患者様に郵送するスマートサービスであり、市場のポテンシャルは非常に大きいと考えています。

以上の取り組みにより、生薬プラットフォームの営業利益は黒字であるものの、製剤プラットフォームにおける先行投資もあり、中国事業は赤字ではありますが、引き続き生薬プラットフォームの売上高の拡大と販管費のコントロールにより、通期における利益の黒字化を目指します。



飲片のさらなる販路拡大 (M&Aも交渉中)

飲片付加価値サービス「一人一方」事業の拡大



病院・薬局、オンライン販売等



消費者

TOPICS

個人投資家の皆様との対話

● さわかみファンド運用報告会
2024年9月14日(土)
グランキューブ大阪

さわかみ投信の運用報告会には、投資先企業のうち27社が参加し、当社もブースを出展して企業講演を行いました。個人投資家の方々との対話を通じて、当社の魅力を伝える良い機会となりました。



アナリストによる「起業訪問ツアー」の様子



ダイジェスト映像

● 岡三証券 個人投資家セミナー
2024年10月22日(火)
岡三証券 室町本社

岡三証券主催の「個人投資家様向け会社説明会」に取締役CFOの半田が登壇し、個人投資家の皆様に当社の事業概要と成長戦略についてご紹介しました。



セミナー映像



個人投資家の皆様へ

ステークホルダーの皆様向け情報発信

● 統合報告書2024 発行のご案内

ステークホルダーの皆様へ、中長期的視点で当社の企業価値向上への取り組みをご理解いただくために発行しています。当社グループの取り組みをぜひご覧ください。



統合報告書2024

#OneMoreChoice プロジェクト

生理のつらさを我慢なくいい社会を目指して、#OneMoreChoice プロジェクトを、2021年から活動に取り組んでいます。

当社が目指すのは、誰もが心地よく生きられる健やかな社会です。不調の際、治療だけではなく、休む、少しだけ働き方を変える、誰かに相談するなど、それぞれが我慢以外の自分に合った選択ができるようになり、そしてその選択肢を提示できる社会こそが、「隠れ我慢」のない健やかな社会につながると考えています。

今後も#OneMoreChoice プロジェクトを通じて、健やかな社会の実現に向け取り組んでいきます。

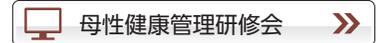


#OneMoreChoice プロジェクトでは、誰もが心地よく生きられる健やかな社会を目指し、2021年から活動を進めています

#OneMoreChoice プロジェクト 社内の知見を社会へ
厚生労働省「母性健康管理研修会」で当社事例紹介

厚生労働省実施「母性健康管理研修会」において、#OneMoreChoice アクションをはじめとする当社内での#OneMoreChoice プロジェクトの活動事例を紹介しました。

母性健康管理研修会は、事業所内における適切な妊娠および出産後の母性健康管理の推進を目的に、事業主や産業保健スタッフ等を対象にした研修会(オンデマンド、2024年10月～2025年3月)です。当社は、母性健康管理等においても先進的な取り組みを行っている企業として本研修会への登壇を依頼いただきました。産前6週間(多胎妊娠の場合は14週間)よりも早期の休暇に失効年休の利用が可能等、当社の取り組みを他企業へ紹介することで、不調を隠れ我慢しない社会づくりにつながればと考えています。



SNS



生理のつらさを、
我慢なくいい社会へ。



ハーバリウム作りや圃場見学会を開催

2024年7月、北海道滝川市で地元子どもたちを対象に出前授業が開催され、小学4～6年生と保護者35名が参加しました。この取り組みは、漢方薬や生薬を身近に感じてもらい、当社の活動を紹介するために初めて実施されたもので、滝川市との地域連携協定の一環として行われました。

授業では、当社社員が漢方薬の特徴や製造方法、西洋薬との違いをクイズ形式で説明。カキの殻や哺乳類の骨が生薬として使われることに、参加者は驚きの声をあげました。その後、オウギやカクコンなど4種の生薬とドライフラワーを使ったハーバリウム作りが行われ、親子で楽しみながら制作に取り組みました。

授業後は、滝川農場のトウキ圃場を見学。参加者からは「漢方の奥深さを知った」「圃場が厳格に管理されていて安心」といった感想が寄せられました。



滝川農場でトウキについて説明を受ける様子



漢方に関する情報の発信

ポータルサイト

漢方の知識を深めていただくための
情報をお届け

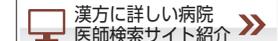


アプリ Kampo view Books

じぶんの身体がよくわかる気血水チェック



外部サイト



サステナビリティビジョンの実現に向けて

自然の恵みである生薬を活かす事業を進化させ、未来へつなげていく私たちだからこそ、自然環境の変化や危機に最も敏感な企業でなければなりません。そして、自然の恵みを最大限に活かし、人々の健康と医療に貢献し続けること——サステナビリティビジョン「自然と生きる力を、未来へ。」にはその想いが込められています。

カーボンニュートラルの実現

- ・製造拠点への太陽光発電導入
- ・CO₂フリー電力への切替

サステナビリティ に関する取り組み

ネイチャーポジティブの実現

TNFD
LEAPアプローチによる自然関連リスク・機会の評価

ツムラサーキュラーエコノミーの構築

- ・エキス抽出水の循環利用
- ・バスハーブ容器バイオプラ化

地域・社会リレーションの構築

土佐ツムラの森
林野庁「森林×ACTチャレンジ2024」優秀賞受賞

サステナビリティビジョン実現に向けた取り組みは、以下の4つの観点から各種取り組みを推進しています。「カーボンニュートラルの実現」は、製造拠点など（静岡工場、茨城工場、石岡センター、深圳津村、天津津村）に太陽光発電を導入し、CO₂フリー電力への切替えと合わせて、今年度のGHG排出量の削減目標である2020年度比▲3%を達成する見込みです。

「ツムラサーキュラーエコノミーの構築」については、バスハーブの容器をバイオ・ポリエチレン配合素材に変更した商品の上市を、2025年2月に予定しています。大ボトル（650ml）ではプラスチック使用量を28%減量します。

「ネイチャーポジティブの実現」は、TNFDのLEAPアプローチによる、生薬産地・生産拠点の自然関連リスクと機会の評価・分析を行い、9月に公表しました。今後は、サステナビリティビジョンの実現に向け、自然資本と関連した様々な環境問題に統合的かつ真摯に取り組むことを通じて、地球全体のwell-beingに貢献し続けてまいります。

「地域・社会リレーション構築」については、国内主要生薬栽培地の一つである高知県越知町の自然環境保護と地域振興を目的に協働の森づくり事業「土佐ツムラの森」に取り組んでおります。こちらの取り組みが評価され林野庁主催の「森林×ACTチャレンジ2024」の「森林づくり部門」にて、優秀賞（林野庁長官賞）を受賞いたしました。



総合報告書2024 >>>



「森林×ACTチャレンジ2024」表彰式の様子

協働の森づくり事業「土佐ツムラの森」について

2024年9月、当社と高知県、越知町、農事組合法人ヒューマンライフ土佐の4者間でのパートナーズ協定に、新たに高知県立牧野植物園の指定管理者である公益財団法人高知県牧野記念財団が参画となり、5者間協定を締結しました。本事業では、関係者全ての「WIN」が成立する取り組みを実現しております。

「土佐ツムラの森」では、地元越知中学校での薬用植物の収穫体験や、出前授業などこれまで1,000人以上の学生が越知町の「自然・産業・歴史」を学習してきました。この度の協定締結により、教育プログラムの刷新を行い、地元フィールドを主体としたより高度な教育機会の拡充を図ります。



5者間協定式の様子

教育プログラムの刷新内容

- 年間50時間の「総合学習」の授業のうち、46時間のプログラム見直し
- 牧野植物園の研究員・調査員による、牧野富太郎博士ゆかりの横倉山でのフィールドワークを実施し、外来生物の防除、希少植物・動物の保護を含めた「生物多様性」を学ぶ
- DXを意識したオリジナル電子図鑑「みんなのEdu-CO」の開発・導入



横倉山フィールドワークの様子

ニュースリリース >>>

株主優待のご案内とご報告

株主優待制度のご案内

【保有年数継続3年以上】

◎薬用入浴液バスハーブ

- ・100株以上……………小(210ml)×1本
- ・1,000株以上……………大(650ml)×1本

◎ツムラ漢方記念館見学会ご招待(年数回)

- ・100株以上……………ご応募の株主様から抽選でご招待



🖥️ 株主還元(配当・優待) >>>

株主の皆様へ日頃の感謝の気持ちを伝える

2024年4月、ツムラ漢方記念館見学会を計4回開催し、83名の株主様が参加されました。この見学会は、株主の皆様へ日頃のご支援に対する感謝をお伝えするとともに、当社事業や漢方に対する理解を深めていただくため開催しております。

当日は、当社の事業概要を説明し、3班に分かれて漢方記念館や薬草見本園、工場、生薬倉庫などを見学しました。特に品質管理のコーナーでは、生薬の成分バランスを最適化する取り組みに株主様は感心していました。

また、実際に生薬を触ったり、香りを嗅いだりする体験では、普段見ることのない漢方薬の原料に興味を示されたり、薬草見本園ではハーブの香りを嗅ぎ分け、植物への関心が深まる様子が見られました。当日のアンケートでは、「漢方医学の知識が深まった」「事業全体を理解できた」といった声が寄せられ、株主様からの応援の言葉が多く届きました。



生薬を触ったり、香りを嗅いだりする体験の様子



薬草見本園での説明の様子



漢方記念館を舞台に漢方の歴史、漢方製剤ができるまでの工程など、さまざまな情報を動画やアニメーションも活用しながら発信しています。

🖥️ バーチャル漢方記念館 >>>

株主総会資料の電子提供制度のご案内

2023年6月の第87回定時株主総会より、株主総会資料は会社法の電子提供制度に基づいて対応しております。本制度を踏まえて、株主の皆様には株主総会参考書類および事業報告の一部を抜粋した招集ご通知をお送りしましたが、次年度以降は、これまで以上にコスト削減と環境負荷軽減(紙資源の節約)を図る方針にてご提供させていただきます。あらかじめご了承ください。

なお、以前と同様の招集ご通知の送付を希望される株主様は、書面交付請求の手続きが必要となります。詳細につきましては、当社ウェブサイトをご覧くださいようお願い申し上げます。

🖥️ 株主総会 >>>

その他各種情報ははこちらから

🖥️ 会社概要 >>>

🖥️ 株式の状況 >>>

🖥️ 株式手続きメモ >>>

株主様アンケートご協力をお願い

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。(所要時間は5分程度です)

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(QUOカードPay500円)を進呈させていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です

- ①下記URLにアクセス
- ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示

🖥️ <https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4540

……以下の方法でもアンケートにアクセスできます……

🖥️ 検索窓から

📧 kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信
「件名」「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

●アンケートのお問合せ「e-株主リサーチ事務局」
MAIL:info@e-kabunushi.com

株式会社ツムラ

コーポレート・コミュニケーション室 IR推進グループ
〒107-8521 東京都港区赤坂二丁目17番11号